

CONTENTS

本書使用の略号一覧 (1)	7
第1章 ジャズ・アレンジメントの特徴と基礎知識	8
1. テーマ	8
(1) ストレート・メロディ	8
(2) メロディ・フェイク	8
(3) 小節の強拍と弱拍 / 強部と弱部	8
2. メロディとハーモニー	10
(1) コード・トーン / ノンコード・トーン	10
(2) テンション / テンション・リゾルブ	11
3. フレーズの作成	13
4. コード・スケール	14
5. 楽器法	16
(1) サックス・セクション	16
(2) ブラス・セクション	16
< トロンボーンのリゾルブ >	17
(3) リズム・セクション	18
本書使用の略号一覧 (2)	19
第2章 4パート構成	20
1. 位置関係	20
2. クローズ・ボイス構成	21
(1) コード・サウンド / テンション・サウンド	21
(2) ノンコード・サウンド / アプローチ・ノート・サウンド	26
< アプローチ・ノートの原則的な解釈 >	26
① クロマティック・アプローチ	27
a) ダブルクロマティック・アプローチ	28
b) ディレイド・リゾルブへの応用	28
c) パラレル・アプローチへの発展	29
② ドミナント・アプローチ	29
a) ダブルドミナント・アプローチ	31
b) ディレイド・リゾルブへの応用	31
c) 代理和音の使用	32
< アプローチ・ノートの変則的な処理-1,2 >	
< テンションへのアプローチ >	34
< コード・トーンをアプローチ・ノートとして >	35
d) リーピング・ドミナント・アプローチ	36
③ ダイアトニック・スケール・アプローチ	37
Ⓐ トニック・サウンド(T)	38
Ⓑ サブドミナント・サウンド(SD)	39
Ⓒ ドミナント・サウンド(D)	39

(3)変則ボイスिंग/ラスト・リズムック・アタック	41
① 変則ボイスिंग	41
a)上行型11th(#11th)の変則	41
b)11th(#11th)の持続に関する変則	42
②ラスト・リズムック・アタック	43
a)aug5thの使用	43
b)♭9thの使用	43
(4)用例分析	44
第3章 4パート・オープン・ボイスिंग構成	45
1.クローズボイスिंगの転回形	45
(1)ドロップ2	45
(2)ドロップ2+4	46
(3)ドロップ3	47
(4)その他	47
<ロー・インターバル・リミット(低音域での音程の限界)>	48
2.特殊なオープン・ボイスिंग	50
(1)フォース・インターバル・ビルド	50
(2)スプレッド	53
<スプレッド・ボイスिंगでの基本事項>	53
①メロディ・ラインへのスプレッドの応用	54
②バックグラウンドへの応用	55
③各声部の動きの変則	56
④ロー・インターバル・リミット関係	57
⑤クライマックスの設定	57
⑥パーカッシブ・サウンド	57
3.用例分析<ミックス・ボイスिंग>	58
第4章 5パート構成	59
1.ダブルリード・ボイスिंग	59
2.インディペンデント・5パート	61
(1)テンション・リードへのコード・トーンをサポート	61
(2)スケールノート・ボイスिंग	62
(3)クラスター	63
(4)フォース・インターバル・ビルド	65
(5)5パート・スプレッド	65
①構成	66
②特定声部の独立した動き	66
(6)アッパー・ストラクチャー・トライアド	67
(7)実用例 (5Sax)の総合的分析	69

第5章 少数パート構成 (2,3声部構成)	73
1.2パート	73
(1)位置関係	73
(2)構成	73
①協和音程	73
②不協和音程	74
(3)用例分析	75
2.3パート	76
(1)位置関係	76
(2)構成	76
(3) 用例分析	77
第6章 ブラス構成	78
<ブラス・セクションの組み合わせ>	78
1.6ブラス構成	79
2.7ブラス構成	81
3.8ブラス構成	82
①クローズ・ボイスイング	82
②オープン・ボイスイング	82
4.補足/ミュート	85
第7章 トウツティ (全合奏)	86
1.コンサーテッド・ライティング	86
(1)ブラス・セクション	86
(2)サククス・セクション	86
①リードノートの選定	86
②ボイスイング構成	88
2.セクションのコンビネーション	88
(1)独立した3セクション	88
(2)リズム・セクションを含むコンビネーション	90
第8章 スコアリング	91
1.編曲の実際	91
2.スコアー実用例分析	93
INDEX	98